

東北学院大学図書館 東日本大震災被災状況報告

震災発生から現在までの主な動き

☆3/11 14:46 震災発生

仙台市青葉区・泉区：震度 6 弱 / 多賀城市：震度 5 弱

- ・土樋キャンパス（中央図書館・中央図書館分室）
 - ・数名の利用者が在館中。
 - ・スタッフ全員の迅速な誘導により全員が指定避難場所へ避難、利用者・委託スタッフ・専任職員ともに怪我人なし。
 - ・その後スタッフは解散、専任職員は土樋キャンパス体育館に開設された避難所の設営・運営の補助を行う。（避難所設営後、帰宅可能な職員は解散。大部分が徒歩で帰宅）
 - ・土樋キャンパス本館第一会議室に災害対策本部設置。
 - ・避難所では交通機関断絶や津波により自宅が被災し帰宅困難となった学生・教職員・近隣住民、計約 200 名が一夜を明かした
- ・泉キャンパス（泉キャンパス図書館）
 - ・蔵書点検作業中に被災、避難通路を確保し、スタッフを誘導。指定避難場所へ集合し、全員の安否を確認後、解散。3/10 より蔵書点検のため休館していたため、幸いにも利用者の在館はなかった。
 - ・土樋キャンパス同様、学内に避難所を設営。体育館の被害が甚大なため、事務棟ロビーを使用。帰宅困難者・地域住民が利用。
- ・多賀城キャンパス（多賀城キャンパス図書館）
 - ・数名の利用者が在館中。
 - ・スタッフ全員の迅速な誘導により全員が指定避難場所（当初の指定はグラウンドであったが、津波襲来の情報により高台にある図書館・礼拝堂前スペースへ変更）へ避難、利用者・委託スタッフ・専任職員ともに怪我人なし。その後スタッフは解散。
 - ・土樋キャンパス同様、学内に避難所を設営。体育館の被害が甚大なため、礼拝堂を使用。帰宅困難者・地域住民が利用。専任職員および交通機関断絶のため帰宅困難となった図書館委託スタッフが避難所の設営・運営の補助に入る。

☆3/12～3/23

- ・土樋キャンパス
 - ・キャンパス内は関係者以外立入禁止となる。
 - ・保護者が迎えにきた学生については引渡しを行い、近隣住民については学内の安全が保障できないため、仙台市指定避難所への移動を依頼。被災学生については8号館会議室を避難所として開放
 - ・職員による学生安否確認作業が始まる
- ・泉キャンパス
 - ・敷地内の地盤沈下、地割れが著しく、建物の被害が甚大であったことから、関係者も含め、キャンパス内全面立入禁止となる。キャンパス全域に配水している給水タンクが破損したため5月連休ごろまで断水が続き、仮設トイレが設置された。
- ・多賀城キャンパス
 - ・キャンパス内は関係者以外立入禁止となる。
 - ・多賀城市からの依頼により礼拝堂を市の臨時避難所として提供。災害支援車両基地・給水所としても利用された（本来の地域指定避難所は多賀城キャンパス向かいにある多賀城市文化センターであったが、避難住民が多く文化センターが飽和状態となったことから）
避難所は最大時で約200名を収容、多賀城市職員・本学多賀城キャンパス職員・他キャンパスからの応援職員を中心に運営（4月に入り多賀城市の避難所集約化によって臨時避難所の役目を終えた）
- ・全キャンパス共通
 - ・法人各校・大学Webサーバー復活（3/12）
 - ・大学ホームページに災害対策情報・学生安否確認ページを開設
 - ・専任職員は所属問わず通勤可能な最寄のキャンパスへ出勤。
 - ・図書館は全キャンパスとも建物の安全確認ができるまで立ち入り禁止。
3/12～3/25の期間中、図書館委託スタッフは自宅待機、専任職員は主に災害対策本部補助・学生安否確認・学外からの安否確認問い合わせ対応・その他学外対応業務・多賀城キャンパス職員は避難所の運営に当たる。
 - ・平成22年度卒業式、平成23年度入学式の中止が決定。
 - ・法人各校・大学メールサーバー復活（3/16）

☆3/24 建物の安全確認・耐震診断終了。はじめて図書館への立入が許可される
図書館システム（E-Cats）サーバー・Windowsサーバー再起動
事務室復旧作業開始

☆3/28 図書館被害状況調査・復旧作業本格始動

図書館ホームページ お知らせ更新

「大震災被災による休館中の対応について」

- ・休館中は返却期限が過ぎていても返却の必要なし
- ・被災に伴う休館期間中の延滞は、貸出停止のペナルティの対象外とする
- ・返却可能な場合は各館1階カウンターへ持参（泉キャンパスは立入禁止のため除外）
- ・ILLは当面停止。

☆3/29 東北学院大学災害ボランティアステーション設立（主管：学長室事務課）

☆3/31 在籍学生 12,217 名全員の安否確認作業終了。

☆4/4 青山学院大学・関西学院大学ボランティアチーム来学（支援物資の運搬）

☆4/6 大学ホームページにて授業再開日（5月9日）発表

☆4/7 23:32 最大余震発生

最大震度：6強

復旧作業中であつたが、再度図書が落下。一時停電となる

☆4/8 建物の安全確認のため、再度全キャンパス立入禁止

☆4/11 キャンパス内立入解禁により、図書館復旧作業再開。

☆4/12 図書館ホームページ お知らせ更新「図書館被災状況について[PDF版]」

☆4/15 図書館ホームページ お知らせ更新

「東日本大震災被災大学図書館への支援（私立大学図書館協会）」

※私図協ホームページへリンク

☆4/18 土樋キャンパスにて「東北学院大学の復興に向けた全学の集い」開催。

（テレビ会議システムを利用し、泉・多賀城キャンパスへも配信）

- ・追悼礼拝ののち、学生・教職員安否・各キャンパス被災状況・震災後に改定された学務日程等についての報告が行われた。
- ・死亡学生：3名 / 行方不明学生：2名
- ・図書館委託スタッフ・臨時職員含む教職員は全員無事であつたが、家族の犠

牲・家屋流失あり

☆4/22 図書館ホームページ お知らせ更新

「図書館の再開（5月9日）について」

☆4/27～ 土樋キャンパス・多賀城キャンパスにて新入生オリエンテーション開催

☆5/4 土樋キャンパス・多賀城キャンパスカウンセリングセンター再開。
心のケアが必要な被災学生に対するカウンセリングが可能となる

☆5/9 授業再開

3 キャンパス図書館開館

<参考>キャンパス配置図



各図書館被災状況

1) 図書資料落下冊数

・中央図書館	蔵書数	65万冊	落下冊数(60%)	39万冊
・ 〃 (分室)	蔵書数	7万冊	落下冊数(60%)	4万冊
・泉キャンパス図書館	蔵書数	28万冊	落下冊数(70%)	19万冊
・多賀城キャンパス図書館	蔵書数	15万冊	落下冊数(1%)	1,500冊

※中央図書館M3F・M4Fのスチール書架 傾斜・固定ボルト破断等が著しい
(別紙画像のとおり)

2) 施設・設備被害

☆中央図書館

壁面タイルの亀裂および一部崩落
壁面等に亀裂発生
利用者用パソコン5台転倒、
事務用パソコン1台破損
書架損壊

☆泉キャンパス図書館

壁面等に亀裂発生
トイレタイルの剥離
利用者用パソコン3台落下
書架損壊

☆多賀城キャンパス図書館

壁面等に亀裂発生

・今後の復旧計画

各キャンパス図書館 開架閲覧室→閉架書庫

3) 現在のサービス提供状況

☆中央図書館・泉キャンパス図書館

- ・短縮開館(8:30-18:00)
- ・開架資料の閲覧のみ
- ・キャンパス間資料貸借停止
- ・ILL 停止
- ・書庫入庫・出納受付停止

☆多賀城キャンパス図書館

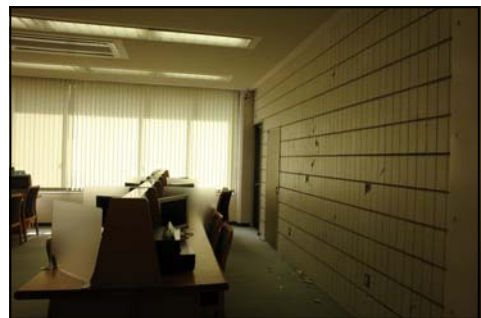
- 短縮開館（8：30-18：00）
- 自館内資料のみ通常貸出

中央図書館・分室被災写真

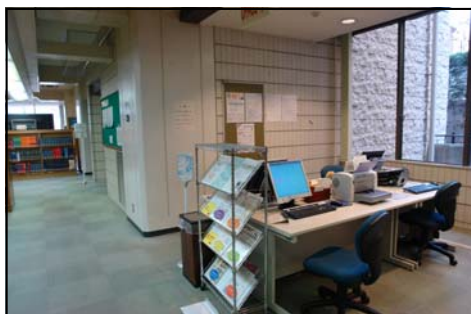
<中央図書館館内構成図>

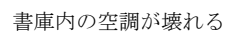
5F	視聴覚室・貴重書展示室・館長室・事務室・会議室	
M4F	閉架書庫	雑誌バックナンバー
4F		洋図書
M3F		和図書(含 中国書)
3F		和図書
2F	第二閲覧室(2階閲覧カウンター) 学習図書 マイクロリーダープリンター OPACコーナー	
1F	第一閲覧室(1階閲覧カウンター) 新聞 雑誌 参考図書 新着案内コーナー AVコーナー OPACコーナー	
B1F	地下書庫	新聞バックナンバー 政府刊行物資料

<学習室・1階閲覧室>



固定されていなかった書架が倒壊



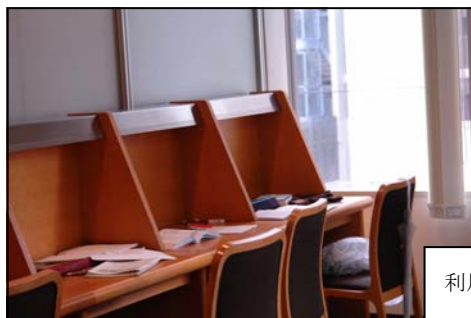


＜2 階閲覧室＞



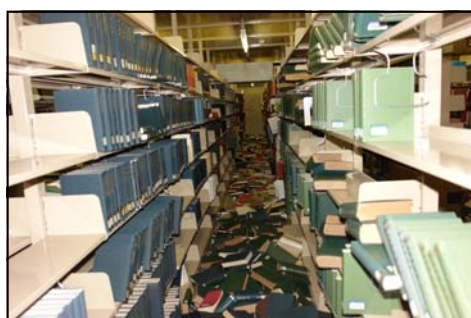
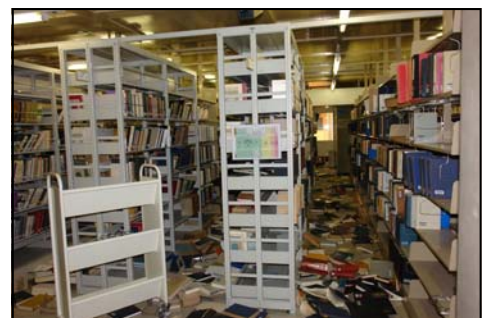
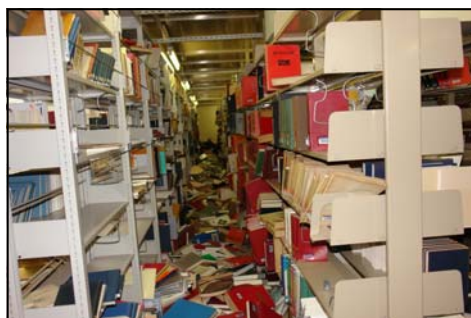


カウンター内の書架が倒壊。
幸いスタッフに怪我はなかった



利用者には貴重品のみを持って避難させたため、荷物は地震当時のままとっている

<閉架書庫（3 階）>





<閉架書庫（M3 階）>